

No.
132

北里大学病院ニューズレター
「窓」

Mado



2023

新年のご挨拶

北里大学病院 病院長 高相 晶士



2023年の新年にあたり 皆様へのご挨拶

北里大学病院 病院長 高相 晶士

2023年の新年を迎え、謹んで皆さまに年頭のご挨拶を申し上げます。改めて、皆さまの日頃からの北里大学病院へのご理解とご協力に感謝申し上げます。

2022年も、世界的SARS-CoV-2のパンデミックが、2021年度に引き続き大きな問題となりました。特に夏を中心にピークを迎えた第7波はすさまじく、病状は軽い患者さんが多かったのは皆さまがご存じの通りですが、重症化する患者さんもおられたのは事実です。また、職員にも多くの感染者が発生し、後を絶たない状況であり、病院運営において皆さまにご迷惑をおかけいたしましたことに深くお詫びを申し上げます。

さらに、ロシアとウクライナの問題が起これ、医療業界においてもエネルギー問題をはじめとして、多くの点で問題が生じ始めました。皆さまにも御迷惑をおかけすることもあるかと存じますが、よろしく御理解下さいます様、重ねてお願い申し上げます。

こういった中でも北里大学病院は高度先進医療を維持しつつも、コロナ患者さんの対応を積極的に行ってきました。重大な疾患や併存症を持たれた患者さん対応も積極的に行っていました。さらに、感染力の強い変異株の出現等により入院患者さんや職員のクラスターの発生も問題となりました。しかしながら、皆様のご協力のもと日々変化する状況に可能な限り適切に対応してまいりました。この間、国や自治体の多大なるご協力をいただきました。この場をお借りして深く感謝申し上げます。

皆様がスムーズな診療と治療を受けるために必要かつ有用な病院の計画にも複数の点で、遅延が生じたり、実現が困難であったものもありました。これからも、潤滑な患者さんの診療と治療が達成できますよう努めてまいりたいと考えております。アフターコロナではこういった経験が十分に生かされ、患者さんにも大きな恩恵があるものと確信いたします。

また、医師の働き方改革は大きな社会のトピックにもなっております。2024年の開始に向け鋭意進行させております。医師の働き方改革は医療界に大きな変革をもたらすと考えています。タスクシェアなどの職員のご協力も必要ですが、皆様のご理解も何よりも重要です。どうかよろしくお願い申し上げます。

いまだ次々に感染力の高い新変異株の発生も報告されておりますが、2023年も気を緩めることなく、早急に、大学病院らしい先進的かつ高度医療を絶え間なく提供できる体制をいつでも取り戻すことができるように、努力いたします。大学病院としての使命、すなわち「高度先進医療の実践と推進」「優れた医療人の輩出」「質の高い臨床研究の実現」に引き続き尽力してまいります。同時に相模原と県央地域に寄り添いながら、「地域医療への貢献」の役割をも果たし続ける覚悟をしております。また、近未来を見据え、ICTを駆使した「スマートホスピタル実現」に向けても力を抜くことなく進めてまいりたいと存じます。

‘成長し実現する’北里大学病院をさらに進化させるために、皆さまのご協力とご理解が是非とも必要ですのでよろしくお願い申し上げます。

引き続き、北里大学病院の未来を見据えた方針は「高度先進医療体制の実現」「医療安全体制の確立」「地域医療とのさらなる連携と推進」です。絶え間ない努力を惜しまず推進してまいります。

そして、誰からも愛され信頼される北里大学病院を職員一同で作っていくよう胸に刻んでおります。

2023年が皆さまにとって心も体も健やかで、実り多く幸せな一年となることをお祈り申し上げます。

2023年も引き続き北里大学病院をよろしくお願い申し上げます。

北里大学病院 責任者一覧

2023年1月1日現在

病 院 長	高相 晶士
副 院 長 (診療担当)	山下 拓
// (教育・研究・倫理担当)	石倉 健司
// (医療支援・渉外担当)	田邊 聡
// (人事・労務環境担当)	比企 直樹
// (医療安全担当)	内山 勝文
// (危機管理・経営戦略・ICT・AI担当)	内藤 剛
// (患者支援・チーム医療・男女協働参画担当)	別府 千恵
病院長補佐 (臨床研修・教育担当)	佐藤 武郎
// (臨床研究・新規医療担当)	尾鳥 勝也
事 務 部 長	永田 義裕

診 療 科	科 長 名	診 療 科	科 長 名
総合診療部	青山 直善	乳腺・甲状腺外科	三階 貴史
消化器内科	草野 央	心臓血管外科	宮地 鑑
内分泌代謝内科	宮塚 健	呼吸器外科	山下 拓
循環器内科	阿古 潤哉	整形外科	井上 玄
腎臓内科	竹内 康雄	形成外科・美容外科	武田 啓
血液内科	鈴木 隆浩	脳神経外科	隈部 俊宏
脳神経内科	西山 和利	眼科	庄司 信行
膠原病・感染内科	山岡 邦宏	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	山下 拓
呼吸器内科	猶木 克彦	泌尿器科	岩村 正嗣
救急内科	青山 直善	婦人科	加藤 一喜
精神神経科	稲田 健	産科・MFICU	落合 大吾
皮膚科	天羽 康之	小児科	石倉 健司
放射線診断科	井上 優介	小児外科	田中 潔
放射線治療科	石山 博條	麻酔科	岡本 浩嗣
上部消化管外科	比企 直樹	救命救急・災害医療センター	浅利 靖
下部消化管外科	内藤 剛	遺伝診療部	高田 史男
一般・小児・肝胆膵外科	隈元 雄介		



退任にあたってのご挨拶 —ポストコロナの医療連携に期待するもの—

北里大学病院 トータルサポートセンター センター長 田邊 聡

皆さま、こんにちは。北里大学病院トータルサポートセンター長の田邊聡です。2016年にトータルサポートセンター長を拝命し6年が経過いたしました。2023年3月末日をもって定年を迎えます。紙面をお借りして一言ご挨拶をさせていただきます。

トータルサポートセンターは、患者さんの入退院支援、外来相談、地域連携の推進などを主体に医師、看護師、医療ソーシャルワーカー、事務員が一丸となって対応しています。高齢の患者さんが増加し、病状が安定したにもかかわらず、様々な要因で入院が長引く場合もあります。入院時からトータルサポートセンターの看護師、医療ソーシャルワーカーが関与することにより、入院期間の短縮、退院後も安心して療養生活を行っていただけるように調整しています。また、地域連携の推進にも力を入れております。

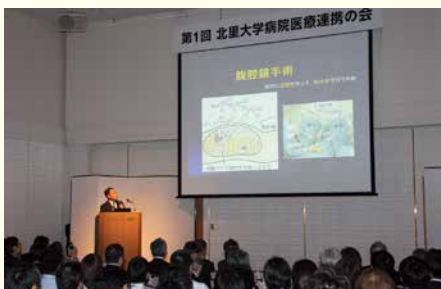
2016年にセンター長に就任後は、相模原市内のみならず町田市内の医療機関へ直接ご挨拶にうかがいました。2018年に病院長に就任した岩村正嗣先生は、地域連携を最重要課題に掲げられ、岩村先生と一緒に地域の医療機関に挨拶周りをしたのがつい昨日のこのようです。2019年6月には第1回北里大学病院医療連携の会を開催しました。相模原市をはじめ、近隣の医師会、病院協会の関係者の方々にご出席いただき、情報交換を行うことができました。この会をきっかけにさらに「顔の見える地域連携」を推進していこうとしていた矢

先に、新型コロナウイルス感染症のパンデミックに襲われました。状況は一変し、現場は新型コロナウイルス感染者の対応に追われ、医療機関へ直接訪問することもかなわなくなりました。患者さんの転院のやり取りもクラスターの発生により困難な場面もありました。このような状況が3年にも及び、現在も第8波を迎え、パンデミックの終息の目途もたっておりません。

今後のポストコロナの医療連携は、パンデミックの間にできなかった対面での情報交換を復活させるとともに、Webを上手に活用した連携が重要かと思えます。Web会議は移動の時間が節約できるメリットがありますが、雑談はできずお互いの距離を縮めることは難しいと思われま。す。「顔の見える地域連携」をさらに進めるためには対面での会話は必須だと思えます。道半ばで北里大学病院を退任することになりますが、患者さんが地域で安心して生活できるような医療を提供すべく、地域連携が今後ますます発展していくことを祈念いたしまして、ご挨拶させていただきます。



岩村前病院長と表敬訪問
休憩時のひととき



第1回北里大学病院医療連携の会